

審議内容整理表

| | |
|------|-----|
| 審議部会 | 第2回 |
|------|-----|

| 整理番号 | 事業名 | 都市基幹七北田川改修事業 | |
|--------------|------------------------|---|---|
| | | 委員の質問・意見等 | 県の回答 |
| (1) 便益について | | | |
| 1 | 越村委員 | 前回評価と今回評価の比較において、一般資産被害額は減少し、農作物被害額が増加している要因について、単純に浸水深の算定精度が高くなったからというだけではなく、他の要因もきちんと確認したほうがよい。 | 各パラメータの変動をより細かく分析し、変動要因を確認しました。 |
| 2 | 庄子副部会長 越村委員 福本委員 | 今回の浸水シミュレーションで前回評価時のマニュアルを適用した場合に、どのような便益になるのかについて示していただきたい。 | 被害額比較表に、前回評価時のマニュアルで算定した被害額を追加しました。 |
| 3 | 西出委員 | 上流区間のみB/Cを算出しないことは納得しかねる。B/C以外においても、いろいろな効果があることをしっかりと県民へ説明すべきである。 | 河川改修は上下流バランスを考慮した計画とする必要があり、上下流一連区間で評価するのが妥当と考えています。 事業の必要性や効果について、より県民の理解が進むよう調書を加筆します。 |
| 4 | 吉田委員 | 上流部の改修事業の必要性は強く感じているので、過去の洪水被害はマニュアル上算定される以上の大きな被害であることを定性的にでよいので強調してほしい。 | 過去の洪水被害やマニュアル上算定していない効果について、事業の必要性をより理解できるように調書を加筆します。 |
| (2) 便益以外について | | | |
| 5 | 福本委員 | 追加説明資料の作成については、掛かる負担も考慮し部会長と相談しながら対応していただきたい。 再評価調書の記載内容と河川整備基本方針や河川整備計画の関連性について、整理してほしい。 | 部会長と相談しながら対応していきます。 河川整備基本方針や河川整備計画について整理します。 |
| 6 | 西出委員 | 部会で説明する資料は事前にいただきたい。 評価に必要な情報は再評価調書に追記していただきたい。 | 事前に資料を提出するようにいたします。 部会でのご意見を踏まえ、調書に加筆します。 |
| 審議結果 | 事業継続とした県案について | | 附帯意見等 |
| | | | |